

【四月の言葉（平成三十一年）】

自力ではどうにもならない

生死（いのち）の問題を

まかせるものに遇えたということが

助かったということです。

私たちは、我執や煩惱をなくすことはできません。

どうにもならない我執や煩惱を抱えたまま、仏さまにおまかせするのです。自力ではどうにもならない私の生死（いのち）の問題をまかせるものに遇えたということが、本当に助かったということです。

自我中心に生き、自我のメガネを通して、他を分けへだてし、他を傷つけずにおれない自分、そんな凡夫の私ほんがをどこまでも見捨てず、救わずにはおれないと言う仏さまのお慈悲を喜び、お浄土への道を歩ませていただきましょう。

※凡夫の欲望や執着などの煩惱に支配されて生きている人間